

2020.6.1

第9号

広報

# せきかわ連合

子どもたちに残す「農地と用水」

発行 関川地区土地改良区連合  
責任者 理事長 齋藤 義信  
〒943-0185  
新潟県上越市大字長面14番地1  
TEL 025-524-8800  
FAX 025-522-5724  
URL <http://www.sekikawarengo.com>  
E-mail [info@sekikawarengo.com](mailto:info@sekikawarengo.com)

—環境に配慮した笹ヶ峰ダムの管理に向けて—  
上越市立針小学校児童(4年生)によるイワナの放流



笹ヶ峰キャンプ場親水広場にて放流(令和元年10月)



関川水系漁協の皆さんからイワナのお話をお聴きました

## 関川連合第49回通常議員総会（R2.3.18）理事長あいさつ

第49回通常議員総会に当たり一言ご挨拶を申し上げます。

日頃より、関川地区土地改良区連合の事業運営に、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。総会開催に当たり、この度の新型コロナウイルスの感染が拡大していることから、書面議決による総会開催とさせていただいたところであり、令和2年度事業執行にあたり、今日的課題と重点事業について申し上げます。

### <今日的課題>

- ① 今冬は、平成28年度と同様の積雪量で平年の半分程度に加えて、気温が高く雪解けが進み、笹ヶ峰ダムへの流入量は平成28年度よりかなり多くなっており、かんがい期の水不足が心配されます。このため、北陸農政局、新潟県及び北陸地方整備局（河川管理者）と調整の上、例年より前倒しで4月1日からダムの貯水を開始しました。
  - ・ 稲の品質や収量に最も影響のある登熟期（コシヒカリで、7月末から8月4半旬頃）に万全な体制で、用水確保に努めてまいります。
  - ・ 今日の「地球温暖化現象」により、昨年のような夏場の干ばつが毎年起こる可能性があると言われております。今後の状況により笹ヶ峰ダムや野尻湖の大規模な「水の調整」が必要となります。
  - ・ 改正土地改良法の利水調整規程の趣旨により、受益農家への公正公平な配水計画が必要であることから、今後の気象状況により、所属土地改良区が管理する幹線用水路等、管内全域での番水を含めた節水対策が必要となります。
- ② 関川地区土地改良区連合としての異常気象対応は、用水供給では上記により最大限の努力をいたしますが、農家所得確保のためには、農業関係機関や団体がその組織力を発揮するよう要請してまいります。
  - ・ 異常気象に対応した「稲作基本技術」の徹底（普及指導センター・JA）
  - ・ 米価下落や万が一の災害補償（国の制度や農業共済制度の積極的活用）

### <令和2年度事業の概要>

- ① 国営かんがい排水事業の促進
 

平成26年に採択された国営かんがい排水事業も、笹ヶ峰発電所は昨年7月より稼働し、ダム関係では洪水吐、取水設備及び管理棟改修工事などを残し、昨年より平場系の上江、中江両幹線用水路の改修に入りました。今後も早期完了に向けて要請活動を進めてまいります。
- ② 笹ヶ峰ダム関係
  - ・ 堆砂対策について、令和元年度の新潟県横断測量結果では190.8万m<sup>3</sup>で、北陸農政局（関川用水農業水利事業所）で実施した解析では、今後は毎年2万m<sup>3</sup>のペースで堆砂が進むと予測しております。地球の温暖化により、全国各地で頻発している大きな災害や、予測のつかないゲリラ豪雨対策など事業化に向けて、強く要請活動を実施してまいります。
  - ・ 現行のダム管理では、非かんがい期に水位を下げる（制限水位）になっており、そのために堆砂や塵芥により発電所の停止が頻発し、北陸農政局へ強く要請した結果、非かんがい期における水位の見直しが検討され、今秋から試験的に水位を上げるなど、今後北陸農政局が河川管理者と協議を進めます。
- ③ 笹ヶ峰発電所の最大限の稼働を目指して
  - ・ 下げ止まらない米消費の減退に加えて、高米価が期待できない現状下で、農家負担の軽減を目的とした笹ヶ峰発電所はその稼働率向上が大きな課題です。
  - ・ 最大限の稼働を目指して、その阻害要因をあらゆる角度から検証し、その解消に努力してまいります。（制限水位、流木及び堆砂対策等々）

事業執行にあたり、議員各位のご理解とご協力をお願いいたしまして、第49回通常議員総会のご挨拶とさせていただきます。何卒よろしくお願い申し上げます。



関川地区土地改良区連合  
理事長  
齋藤 義信

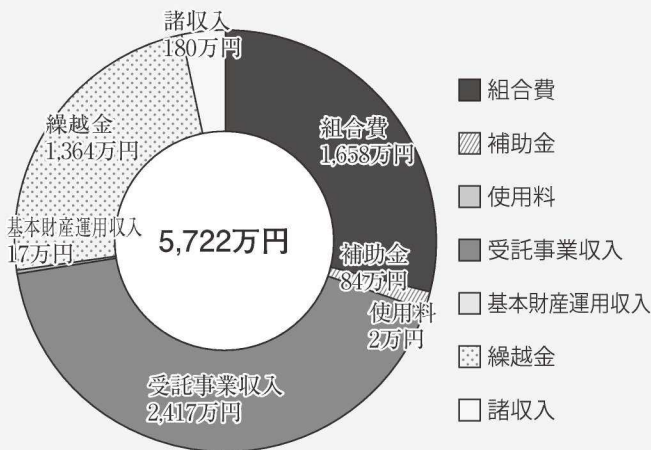
# 令和2年度事業計画及び予算

## 事業計画

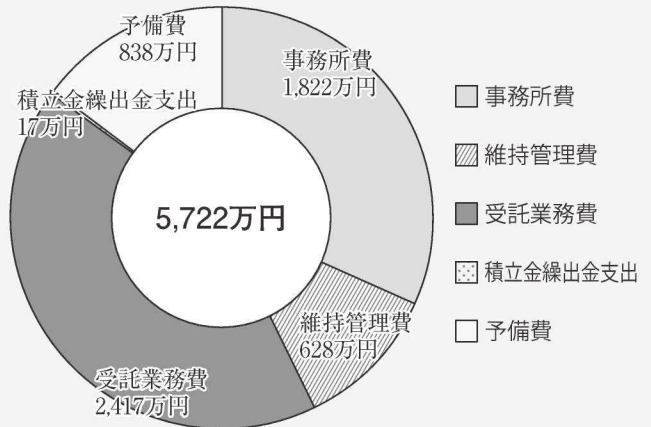
- 1 国営関川用水土地改良事業の促進…国営土地改良事業関川用水地区推進協議会を主体に国等へ要請
- 2 笹ヶ峰ダムの抜本的な堆砂対策について…毎年2万m<sup>3</sup>の堆砂が想定される中、抜本的対策の実施を国へ要請
- 3 笹ヶ峰ダムの管理について…記録的暖冬少雪年であり干ばつが心配されるため早期貯水と万全な供給体制構築
- 4 国営造成施設管理体制整備促進事業の推進について…幹線水路の管理を地域住民と協働実施（R2年度で終了）
- 5 環境に配慮した笹ヶ峰ダムの管理について…内水面漁協や市内小学校とタイアップし、イワナの放流を実施

## 一般会計予算計画

【収入】

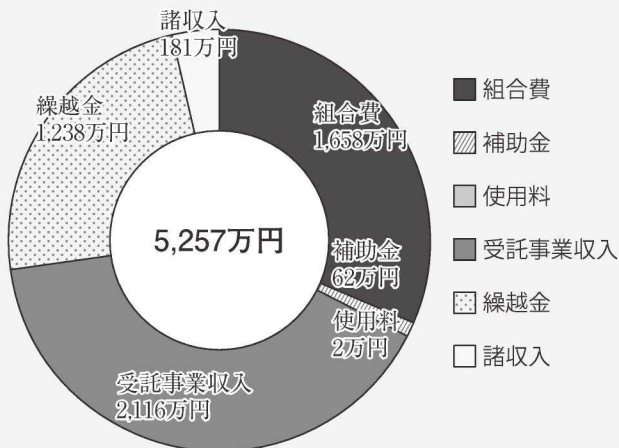


【支出】

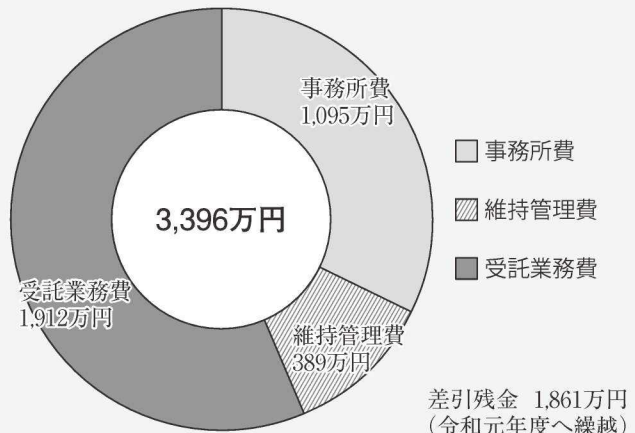


## 平成30年度一般会計決算報告

【収入】



【支出】



差引残金 1,861万円  
(令和元年度へ繰越)

## 笹ヶ峰ダムの積雪状況と貯水について



暖冬少雪だった平成28年（4月15日）



4月に寒が戻った令和2年（4月15日）

(単位：cm)

年	平成28年	平成29年	平成30年	H31(R1)年	R2年	平 年
最大積雪深	206	433	335	349	231	343
4/1 積雪深	80	335	175	190	100	246

令和2年の冬は記録的な暖冬少雪となりました。妙高連山周辺も少雪で、2月から3月にかけて暖かい日が続き、例年になく雪解けが進み、ダム湖に入ってくる流量が増大したため、例年5月から貯水を始めていますが、今春は関係機関の許可を得て4月1日から貯水を始め、4月中の満水を目指してダムを管理しました。引き続き、「節水」にご協力くださるようお願いいたします。

### 新規採用者あいさつ



管理課長  
樋口 正弘

このたび、42年間勤めた新潟県庁を定年退職し関川地区土地改良区連合の管理課長として務めさせていただきますこととなりました。

私は、昭和34年に清里区鶯沢に生まれ、高田農業高校を卒業し旧上越農地事務所勤務以来、上中下越・佐渡での勤務を経験し、魚沼地域振興局を最後に定年を迎えました。

この間、上越は4回勤務し、笹ヶ峰ダムの管理にも携わって参りました。

ダム管理では、特に平成7年7・11水害が印象に残っております。

未曾有の大災害の中、何とか乗り越えることが出来たのは、関係者各位のご協力、ご理解を頂いたおかげで心より感謝しております。

これからは、今までの経験を活かし、昨今頻発しています豪雨や地震による大規模な災害、また少雨・高温による水不足・干ばつに対応できるように、笹ヶ峰ダムや水路などの農業水利施設の万全な管理を心掛け、微力ではございますが精一杯努力し勤めてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。